



総持寺キャンパスは文理ハイブリッドキャンパスとなる

**多様化を目指す
学部増設と
理系学部開設を構想**

人文社会科学系中心の私立大学として実績を重ね、その高い教育力で確かな地位を築いている追手門学院大学が今、大きな変革を遂げようとしている。

「世界がドラスティックに変化する中であつて、イノベーションを創出するための新しいアイデアや構想を生み出せる教育・研究を実現することが求められています。そのために本学を文系と理系の学部が並び立つ総合大学へと発展させたいと考えています」と、真銅正宏学長は変革の真意を語る。

2022年4月、6カ年の中期計画「第IV期中期経営戦略」を策定し、その実現に向けた取り組みを本格化させた。新経営戦略の下、教育力・研究力の向上に不可欠な経営基盤の安定化を図るとともに、多様な学びの環境を創造し、イノベーションを創出、発信していける大学を目指すという。

まず取り組むのが、学部を増設し、多様化を推進することだ。22年4月、新たに国際学部と文

学部を開設。加えて23年には、法学部の新設を予定している。さらに挑戦的なのが、理系学部の開設だ。その先駆けとして21年心理学部に「人工知能・認知科学専攻」を開設した。

**全学部を集約
文理ハイブリッド
キャンパスを目指す**

学部増設による多様化と並行して、キャンパスの規模拡大と再編を推進している。19年に新設した茨木総持寺キャンパスでは現在、新校舎を整備中。25年に完成予定の新たな学び舎は、まさに「文理融合の総合大学の学び」を体現するものになるという。「コンセプトは文理を超えたハイブリッドキャンパス。文系と理系の学生が同じ場所で学び、学生生活を通して交流できるような設計にしました」と真銅学長。教員の研究室と、学生が過ごす教室やゼミ室も同フロアに配置し、教職員と学生の交流も促進する。「互いに『学びあい、教えあい』、学生が主体的に学んでいる環境を実現したい。そうした中でこそ、新しいアイデアが生まれ、イノベーションを

**教育DXを推進し
個別最適化した
学びを可能に**

学生総数1万2000人規模の総合大学へ。その前提となる大学の入試総志願者数も22年度入試まで10年連続で増加している。

ソフト面では学生一人ひとりに対応した学びを実現するべく「教育DX」に取り組んでいる。

最も重視するのが、「学修者本位の学び」だ。「予測不可能な未来を生き抜くためには、生涯学び続け、刻々と変化する時代の知識を吸収し、成長し続けることのできる力を育む必要があります。そのために知識を身につけるだけでなく、学生自ら学んでいくための『方法を学ぶ』ことが重要です」と真銅学長。デジタルを活用し、主体的・能動的な学びへと学生の行動変容につながるような教育を目指し、「OIDAIDX推進計画」を策定。本計画は、21年3月に文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に選定された。そして今、新たにデジタル・ナレッジ社の「Knowledge Deliber」を導入している。

ベースとなるのが、18年から運用してきた学生ポートフォリオ「追大e.Navi」だ。GPAや外部試験のスコア、資格数など数値データを収集し、学生に公開してきた。自らの強みや課題に気づき、学び方の再考を促すのが狙いだ。「Knowledge Deliber」の導入により、さらに多様なデータを自動的に収集できるようにになりました。学習時

創出していけると考えています」と説明する。

新校舎開設の暁には、心理学部（2〜4年次）を除くすべての既存学部、大学院、および本部機能を茨木総持寺キャンパスに集約することになる。学部増設によって現在約8000人の学生数を大きく増やし、将来は

**次代を生き抜く人材を育成
文理を超えた
総合大学を目指し
進めるキャンパス拡充と
教育DX**

追手門学院大学

人文社会科学系私立大学として関西で存在感を発揮する追手門学院大学が、改革に取り組んでいる。目指すのは、文系・理系の両学部を有する総合大学。文理の枠を超えた多様なあふれる環境で、未知なる次代を生き抜いていける人材を育成していく。制作 東洋経済企画広告制作チーム



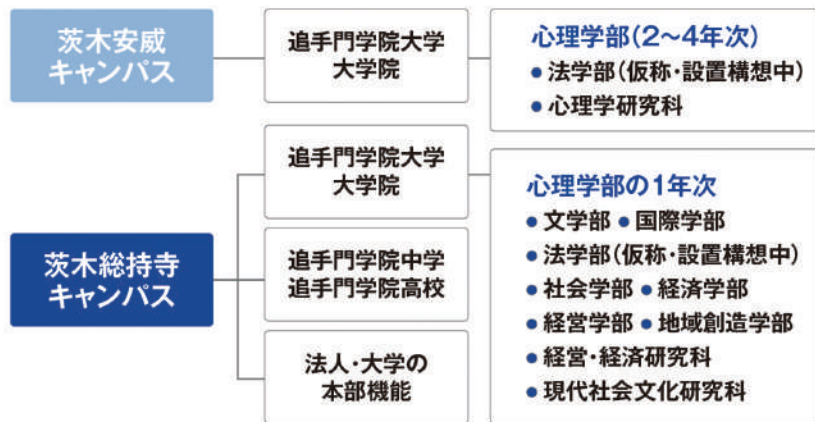
学長 真銅 正宏



学生同士、学生と教職員との交流も促す

イノベーション創出を促す場を目指す

総持寺キャンパス学部・大学院再配置計画(2025年4月)



間やテストの得点率、どのデバイスを使って学習したか、あるいはディスカッション中の発言時間など、日常の学習姿勢までも数値データ化。学生と教員間で教材やデータを共有し、学習の進捗を管理するLMS(学習管理システム)を高度化します。将来的には、これらの詳細なデータと学生の進路情報などを組み合わせた「AIティーチング・アシスタント・システム」の構築を目指しています」と言う。実

現すれば、学生の個別希望進路に沿って履修すべき科目や、先輩の取り組みなどをAIが提示。学生が自分に適した学び方を見つけ、目標に向かってモチベーションを高めながら学修できるよう後押しすることが可能になる。文系・理系の枠を超えたハイブリッドな総合大学で、イノベーションを生み出す人材を育てていく。同大学の存在意義はますます大きなものになっていくだろう。

追手門学院大学

<https://www.otemon.ac.jp/>
広報課 072-641-9590・入試課 072-641-9165

茨木安威キャンパス 〒567-8502 大阪府茨木市西安威2丁目1番15号
茨木総持寺キャンパス 〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町1番1号